



2022年5月16日

各 位

会 社 名 株式会社レオパレス21
代表者名 代表取締役社長 宮尾 文也
(コード番号 8848 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 経営管理本部長 竹倉 慎二
(TEL 050-2016-2907)

(開示事項の経過及び変更) 「2022年3月期 決算発表延期のお知らせ」
の経過及び変更に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日付「2022年3月期 決算発表延期のお知らせ」で公表しました通り、監査法人に通報があり、調査確認の要請が同日あったため、2022年3月期決算発表を2022年5月20日へ延期としておりました。

監査法人への主な通報内容は下記の通りですが、いずれも確認結果に記載の通り、2022年3月期決算に影響を与えるものではないとの結論に至ったことから、本日決算発表をすることに変更いたしました。

記

1. 変更の内容

(変更前) 延期後の決算発表日 2022年5月20日(金)
(変更後) 延期後の決算発表日 2022年5月16日(月) 9:00頃

2. 主な通報内容

- (1) 1989年に当社取引先であったA社との間で2億5,000万円の実体のない貸付をし、架空貸付金の計上がされている。
- (2) 当社と入居者の直接の賃貸借契約を、仲介業者経由として仲介手数料を不正に支払っている。
- (3) 毎月の入居率を意図的に高く公表するため、不当な操作をし、会計上の影響を与えている

3. 確認結果

- (1) 取引先A社との間の貸付金2億5,000万円については、外部弁護士により既に調査済みであり、金銭消費貸借契約書、変更契約書、債務承認書のいずれについても、A社の社印、連帯保証人の印のある正当な契約書が存在しており、架空貸付金であることを示す証拠はなく、決算に影響するものとは認められないものである。
- (2) 2015年から2021年まで、当社の複数の賃貸支店において、不正な仲介契約及び不正な転貸借契約が行われていた事実は確認されているが、既に調査を終了し、社内規定に基づき厳正に処分は行われ、現在は再発防止策を策定し不正はできない仕組みとなっている。約1,000万円の損害のうち、約600万円は回収済みであり、残金についても回収見込みであり、決算に影響するものとは認められないものである。

- (3) 入居率は機械的に算出するものであり、人為的に操作することはできない仕組みとなっている。
また、オペレーション上、意図的な不正操作をしたことは確認されておらず、決算に影響するものとは認められないものである。

なお、2022年5月13日の17時より予定しておりました、機関投資家・証券アナリスト向け2022年3月期決算説明会は、2022年5月17日（火）の15時より開催いたします。

株主・投資家の皆様をはじめ、取引先及び関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をお掛けしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

以上